



斉藤 重美
(自民公明クラブ)

青櫛取水口や黄瀬川取水口に 観光スポットに

整備を検討する予定はない

議員 十和田湖の青櫛取水口と、黄瀬川^{おうちせがわ}の取水口を観光スポットとして整備しては。

観光商工部長 いずれも施設管理者に観光目的のために開放する考えがないことや、ルート^{ルートの}の安全性などの点から、整備を検討する予定はありません。

議員 観光客を増やすために、黄瀬川上流にある、日本の滝百選に選ばれている松見の滝までの道路を整備する考えは。また松見の滝から黄瀬沼、南八甲田山の乗鞍岳^{のりくらだけ}までの登山道を整備する考えは。

市長 自然景観を安全に楽しんでいただく上で遊歩道や登山道の整備・充実は大変な要素であるとして認識しています。しかし、安全への責任、事故

を防ぐための施設の維持補修、また管理体制や万が一の事故への補償の対応等を考えると、市が整備主体となることについては非常に慎重にならざるを得ず、いずれのルートも整備は難しいと考えています。



魅力を秘めた松見の滝

議員 東北電力と協議して、焼山の十和田発電所を観光スポットとして見学できるように検討しては。

観光商工部長 電力施設への立ち入りが必要となるため、東北電力では学習機会の提供のため、学校に限って、事前相談があれば係員をつけて発電開発の歴史や仕組みについての説明をしていることです。

議員 旧高清水駅付近交差点の工事終了後、交通量の増大が予想される工業高校、東小学校の丁字路交差点を十字路に改修し、稲生川を横断して大学通りまで市道を拡幅整備しては。

建設部長 交差点の形状については県等の関係機関と協議が必要となります。しかし、地域住民や地権者等の同意を得ることが困難なため、整備は非常に難しいと考えています。

食育のため「早寝早起き朝ごはん」をスローガンに 定着に向けて取り組んでいく



竹島 勝昭
(市民連合クラブ)

議員 乳幼児期と学齢期の食育の課題は。

健康福祉部長 三歳六カ月児の約四割が甘味飲料を頻回に摂取しており、バランスのよい食生活の推進が課題です。

教育部長 肥満傾向にある児童生徒の出現率が、全学年で全国平均を上回っていることから、肥満傾向の改善に成果が出ていることがありません。

議員 文科省が国民運

動として推奨する「早寝早起き朝ごはん」のスローガンを全小中学校で統一して掲げ、目標値を持たせて取り組んでは。

健康福祉部長 第三次食育・地産地消推進計画の策定において、乳幼児期の食事内容や生活リズムの改善と、学齢期の肥満改善や朝食摂取率向上を目指し、取り組んでいきます。乳幼児期では、生活リズムや基本的な生活習慣の確立のため、「早寝早起き朝ごはん」の推進をスローガンに掲げ、

議員 ある保育園では、正しい食生活と遊びや運動を目いっぱいさせる保育を三カ月ぐらい続けたところ「朝晩の寝起きの時間が整った」「健康的な便が出る子が多くなった」「大きなけがをする子がいなくなった」「インフルエンザに罹患する子がほとんどいなくなった」という大きな成果を上げた。

「早寝早起き朝ごはん」に特化し、毎日の基本的な生活リズムを整えることを実践することが結果的に食育の推進につながっていくと思うが、市の考えは。

これまで以上に保育所等の関係機関との連携を密にして取り組んでいきたいと考えています。



食は生活の基盤